



## 十津川温泉郷・「温泉総選挙 2016」 健康増進部門 2 位受賞！

十津川村は「温泉総選挙 2016」に応募し、温泉療養効果の実証調査や温泉と地元の郷土食を活用した健康づくりが評価され、健康増進部門の 2 位を受賞した。温泉総選挙とは、温泉の効能や温泉地の魅力を周知し、温泉地の利用を促進するために実施された「うるおいプロジェクト」(\*)主催(後援：環境省／国土交通省観光庁)による取組み。

\*うるおいプロジェクト…一般財団法人日本エンパワーメントコンソーシアム内に事務局をおくプロジェクト

### ■温泉総選挙とは

日本全国の温泉地を応募対象とし、全国 104 の自治体から 125 件の応募により実施され、環境大臣賞の他、8つの部門賞と 8つのメディア賞がある。第 1 回目の今回は環境省や温泉に関する専門団体等で構成される選考委員会により各賞が決定された。部門賞として健康増進部門の他に、リフレッシュ部門、うる肌部門等が設けられている。環境大臣賞と健康増進部門の受賞温泉地は下表のとおり。

環境大臣賞	玉造温泉 (島根県松江市)
健康増進部門	1 位 竹田温泉群 (大分県竹田市)
	2 位 十津川温泉郷 (十津川村)
	3 位 豊富温泉 (北海道豊富町)
	4 位 高湯温泉 (福島県福島市)
	5 位 三朝温泉 (鳥取県三朝町)



### ■受賞のポイント

十津川温泉郷は「何もない」がある場所」と PR し、秘境をプラスに変えていることも評価され、次の 3 点が受賞のポイントとなった。

①平成 16 年に、村内全温泉施設で全国に先がけ

て「源泉かけ流し宣言」を行った。

- ②医学博士の監修のもと、湯治モニター等の調査を行い、老化・疾病の原因となる“活性酸素”が減少し、身体の酸化を防ぎ還元力を高める“抗酸化力”が増加したという結果を得て、十津川温泉郷の温泉効果を医科学的に実証した。
- ③県内第 1 号の飲泉許可を得ている強みを活かし、宿泊施設や飲食店を対象に平成 28 年 7 月～平成 29 年 2 月にかけて「郷土食材を活用した料理講座」を開催し、地元食による「温泉療養効果」の魅力向上を目指している。

十津川名所・  
谷瀬の吊り橋 (右)



温泉は源泉かけ流し  
(左)

### ■今後に向けて

十津川村の担当者は、「インバウンドの取込みを念頭に、世界遺産・熊野古道の入り口となる和歌山県田辺市や関西空港を擁する大阪府泉南市とも連携し、十津川村へのアクセスルートを広げていく。また、食材では注目されつつあるジビエ(鹿やイノシシの肉)料理の提供にも力を入れていきたい。来年度からは一般投票に変更される温泉総選挙だが、十津川温泉郷の継続入賞を目指してさらなる魅力を発信していく」と意気込んでいる。

健康効果にお墨付きを得た今回の受賞が、十津川村の活性化に、さらなる追い風になることを期待する。  
(高橋 香)